



やなぎっ子

五感を刺激する豊かな体験を！

来週より、第1学期最後の月である7月に入ります。6月末の授業参観・懇談会に始まり、7月5日から計画している個人面談では、保護者の皆様にご多用の中、お時間を調整して学校に足をお運びいただくこととなります。どうぞ、よろしくお願いたします。授業参観・懇談会や個人面談を通して、お子様の「よさ」や「1学期の頑張り」、「先を見据えた課題」などについて、ご家庭と共有し、今後の成長を見守り、よりよく育てていく道筋をつけていきたいと考えています。

さて、あと3週間で、子どもたちが楽しみにしている39日間の夏休みがいよいよ始まります。どんな夏休みが、子どもたちを待っているのでしょうか。私が小学生の頃の夏休みというと、毎年、山の中での3泊4日のキャンプを楽しみにしていました。滝を目指して汗だくになりながら進んだ山登り、冷たい水の激しい流れに多少の恐怖を覚えながらも楽しんだ川遊び、耳を澄ませば聞こえてくる鳥や虫の鳴き声、夜空にまたたく星の美しさ、力を合わせて作ったカレーライスのおいしさ、……。今でも鮮明に覚えています。今、振り返ると、五感を刺激するたくさんのことを体験していたのだと思います。子どもの頃だからこそ、そして初めての体験であればあるほど、鮮明に記憶に残るのでしょうか。子どもにとっては、非日常のすべてが、貴重な体験になるのだと思っています。

第1学期の終業式には、「夏休みには、普段できないことに挑戦してみてください」と子どもたちに投げかける予定です。そこで、ご家族の皆様にご提案です。ご多用の中だとは思いますが、お子様には、夏休み中に様々なことを体験させていただきたいと考えています。「キャンプ」という私の子どもの頃の夏休みの話にとらわれなくて結構ですので、五感を刺激する様々な体験をさせてみてはいかがでしょうか。そして、お子様には、たっぷりとその世界に浸り、活動させていただきたいと考えています。今しかできないこと、小学生の時代にしかできないこと、その場所でしかできないことをさせていただきたいのです。お子様が五感を介して体験した一つ一つが思い出となり、大人になっても私のように記憶に残るものとなることを願っています。

8月28日には、様々な体験を通して五感を刺激され、一回り大きく成長した子どもたちの笑顔に会えることを楽しみにしています。